

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域の特性を活かした自転車イベント立ち上げ事業
事業主体 (連絡先)	北アルプス山麓グランfond実行委員会 (大町市大町 1556 番地 4 NPO 法人ぐるったネットワーク内 0261-85-0556)
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,659,744 円 (うち支援金: 1,242,000 円)

事業内容

9月7日に、北アルプス山麓グランfondと題したファンライドイベントを実施し、650人の参加を得た。本事業ではイベント立ち上げに係る告知(ホームページ作成、ウェブ雑誌等掲載)、備品作成(コース看板、パネル等)、地域連携(シャトルバス運行)を行った。前日の街中イベントや宿泊施設との連携も含め、60余の地元団体の協力を仰ぎ、地域一体での魅力発信とおもてなしに努め、地域のファンづくりを目指した。事前案内にも地域情報を20数種類同封して、発信に努めた。



【好天に恵まれ、初秋の北ア山麓を満喫】

【目標・ねらい】

- ① 自転車観光によって、自然景観から経済効果を生む流れをつくる。
- ② 広域連携で地域のおもてなし力を高める。
- ③ 地域のコアなファンを増やす。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

全国より参加があり、県外比率は81%と昨年の76%を上回った。前日受付、前日の街中イベントとの連携、宿泊施設との連携等が定着し、初年度に比べて地元での宿泊が増え、一定の経済効果を得た。

60余りの地元団体が物品提供やボランティア、宿泊特典等に携わり、丁寧で地元らしいおもてなしができた。連携企業が増えていることも心強い。

アンケートでは、好天に恵まれたこともあり、91%が満足、79%が来年も参加したいと回答。公式フェイスブックの「いいね!」も昨年の355から572に増え、コアなファンづくりに効果があった。

※自己評価【 A 】

- 【理由】
- ① 自然景観から経済効果を生む流れができた。
 - ② 広域連携での地域のおもてなし力が高まった。
 - ③ 地域のコアなファンが増えた。

今後の取り組み

今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

昨年に比べて告知は早めだったにも関わらず、参加者数は微増にとどまり、女性やファミリーの割合が減った。理由としてはフェイスブック等での丁寧な発信が足りなかったこと、コースの獲得勾配が大きくきつめのコース設定であることが考えられる。きつめの120kmコースを本大会の特徴としつつも、平坦なコース取りをした100kmコースを女性向きに育て、ゆくゆくは1500人以上が安定して集まるイベントに育て継続していきたい。また企業や商店との連携も拡大し、事前告知やエイドステーションでの魅力発信を活かして、滞在中の飲食やお土産購入、リピーター獲得に努め、地域のブランディングや経済効果につなげたいと考えている。人以上が安定して集まるイベントに育て継続していきたい。また企業や商店との連携も拡大し、事前告知やエイドステーションでの魅力発信を活かして、滞在中の飲食やお土産購入、リピーター獲得に努め、地域のブランディングや経済効果につなげたいと考えている。